

山行報告書

3月山行報告書 報告者 樋口 修

山名	小塩山	山行名	4月例会	
ルート	JR向日町 → 南春日町バス停 → 林道出会 → 小塩山 → 金蔵寺 → 南春日町バス停			
山行日	平成30年4月7日	天候	曇時々晴れ、のち雨	
参加者	リーダー：樋口 サブリーダー：上田 男性：宮野、中田、西川(洋) 女性：大林、江平、伊藤(典) 合計：8名			
ルート概略図	コースタイム			
	地名	時：分	地名	時：分
	JR向日町 駅	集 9:10 発	小塩山頂上	着 12:20 発 12:50
	南春日町 バス停	着 9:30 発 9:30	御陵の谷 カタクリ観察	着 12:55 発 13:00
	大原野神社	着 9:40 発 9:45	淳和天皇 御陵	着 13:10 発 13:10
	林道出会	着 10:30 発 10:35	金蔵寺	着 13:55 発 14:15
	カタクリ観察 炭の谷 Nの谷	着 11:30 発 12:10	南春日町 バス停	着 15:20 発
	山行報告			
	<p>前日午後から降り始めた雨も夜半には止んだが、すっきり晴れた天候ではない。</p> <p>JR向日町駅9時5分発の洛西バスターミナル行の阪急バスに乗り、南春日町で降り大原野神社へ向かった。大原野神社で装備を整え、少し行った動物避けの柵の手前で準備体操をし、小塩山へ向かって出発した。</p> <p>登りは、林道に出会ったり離れたりのやや急登の道で、カエデの木が多く青葉が美しい。途中下りてきた青年にカタクリの開花状況を聞くと「ビミョウ」との返事。今回の山行は、カタクリの群生を観るのが主たる目的だ。カタクリは太陽の光があたらないと花は開かない。不安をいだきながら登って行き、山頂少し手前の「炭の谷のカタクリ群生地」に着いた。</p> <p>悪い予感的中した。谷一面のカタクリは、太陽の光を待つかのように、「つぼんだまま」か「やや開きかけた」状態で、開いているのはわずかだった。その後訪れた、「Nの谷」「御陵の谷」のカタクリも同じようなものだった。</p> <p>天候には逆らえない。次回を期待して小塩山頂上の無線塔の所で昼食をとった。</p> <p>昼食後、御陵の谷から淳和天皇御陵を経て金蔵寺に向かって下っていった。金蔵寺境内の桜はまだ満開の状況だった。金蔵寺から南春日町バス停へとアスファルトの道に向かう途中、想定外の雨が降り出し、あわてて雨具を着た。南春日町バス停に着くころは本降りの雨となった。天候が今一つで残念だったが、山行は楽しく無事おえることができた。</p>			
	ヒヤリハット	なし		

感想文

小塩山にカタクリを見に行きました。

中田繁男

前日は雨が降って心配した天気は朝から日が差し一安心。JR向日町駅から阪急バスで南春日終点で下車。大原野神社の駐車場から向かいました。大原野神社付近は若いころの私の担当エリアで車で走り回った懐かしい場所です。神社のおかみさんにも大変お世話になりました。登山口の防護ネットを入り樹林帯を抜け、山道には分岐点がいくつかあって道迷いやすく、歩くうちに道がなくなり直登をやぶ漕ぎするはめになってきました。急いで戻り正規の登山道に戻った時には他のハイカーが先に歩くのが見えて一安心！辺りの木々はもう春の色合いを見せ始めています。地元ボランティアの方が保護活動されているカタクリ自生地に着した。①炭の谷②Nの谷③御陵の谷はロープやネットが貼られ入口にはゲートがあってボランティアの皆さんが丁寧に説明をしていただきました。残念ながら曇天でやや気温が低い為カタクリの花は下向き、群生して沢山あるのに見事な閉じっぷりです。お行儀よく並んで私たちのテンションも下向きがちでしたが、しばらくして太陽が差し始めるとカタクリの花（9枚の花弁）が開き始めました。驚きΣ（・□・；）です。カタクリの花は1年目に頭に小さい種子を付けたまま、ひげ状に発芽してから花を咲かせるのに8年かかる説明にまた驚き！！葉の裏側にギフチョウが卵を産み付けるのが観察出来ます。カタクリは皆さんもご存じですがあの片栗粉のカタクリで、以前はカタクリの根から片栗粉を作っていたそうです。小塩山の電波塔は展望がありませんが昼食タイム。そのころから曇りはじめ風が冷たい。淳和天皇陵（53代）を過ぎて金蔵寺・本堂はもみじが境内に多くここは秋にも訪れてみたいところです。普段は花にあまり興味がない私ですが沢山の花を教えて戴きました。カタクリ、しだれサクラ、ニリンソウ、ミヤマカタバミ、ヤマドリソウ、シハイスミレ、ミツバツツジ、シヤクナゲ等・・・お疲れ様でした。

